

2025 年度 全日本学生ボードセーリング選手権 大学対抗戦

2026 年 2 月 20 日（金）～2 月 23 日（月）

共同主催：一般社団法人日本ウインドサーフィン協会・日本学生ボードセーリング連盟
和歌山県セーリング連盟

公 認：（公財）日本セーリング連盟（2025-60）

協 力：NPO 法人和歌山セーリングクラブ

開催場所：和歌山県和歌山市毛見 1514 和歌山セーリングセンター
(セーリングナショナルトレーニングセンター)

レース公示

1 規則

- 1.1 セーリング競技規則(RRS)及び付則 B に定義された規則を適用する。
- 1.2 日本学生ボードセーリング連盟規則及びテクノ 293 クラス規則を適用する。

2 [DP]広告

- 2.1 ボードは、主催団体により用意された広告を表示するよう要求されることがある。

3 参加資格および申し込み

- 3.1 チームは各大学 5 名以下の選手代表者で構成されるチームが参加できる。
- 3.2 選手は日本学生ボードセーリング連盟加盟校に在籍し、（公財）日本セーリング連盟 (JSAP) の会員でなければならない。
- 3.3 参加資格のあるチームは、エントリー用紙及び誓約書を完成させ、2026 年 1 月 18 日（日）までに大会実行委員長に LINE にて送付することにより、参加申込をすることができる。その際、JSAP 会員登録更新を必ず済ませ、会員証のスクリーンショットも LINE にて送付すること。
- 3.4 レイトエントリーは 2026 年 1 月 25 日（日）必着まで受け付ける。但し、参加料は 1000 円加算される。また、メンバー変更は 2025 年 2 月 1 日（日）まで受け付けるが、それ以降、特別な理由がない限りメンバー及びセールナンバーの変更を認めない。

4 参加料

参加料は別紙エントリー用紙及び誓約書の通りとする。

5 レースの方式

5.1 本レガッタは、1つのシリーズの中で、大学対抗戦と個人成績により構成される。

5.2 大学対抗戦

各大学のチームの内、最大3艇が各レースに出場し、その合計得点により総合順位を競う。

5.3 個人成績

各レースに出場した各ボードの合計得点により総合順位を競う。

6 日程

6.1 日程

2月20(金)	11:30～12:30	大会受付
	13:00～16:00	大会装備検査
2月21日(土)	09:00～	開会式・艇長会議
	10:25	第1レース予告信号 引き続きレースを行う
2月22日(日)	09:55	その日の最初のレース予告信号 引き続きレースを行う
2月23日(月)	09:55	その日の最初のレース予告信号 引き続きレースを行う ただし14:00以降に予告信号が発せられることはない
	16:00	表彰式・閉会式

6.2 本大会は9レースを予定し、1日に行われる最大のレース数は4レースである。

7 安全及び大会装備検査

7.1 各艇は、指定された大会装備検査用紙に必要事項を記入し、大会受付時に提出しなければならない。

7.2 [DP]海上では常に適切な個人用浮揚用具を着用しなければならない。これは規則40を変更している。個人用浮揚用具は、IS012402-5、レベル50又は同等以上の浮力を要しなければならない。また改造、修理は認められない。

7.3 [DP]競技者は直径 4 ミリ以上で長さ 5 メートル以上の水に浮く「レスキューロープ」を、海上にいる間は使用できる状態で携行しなければならない。

7.4 検査は、大会装備規定に基づいて行われる。検査時に個人用浮揚用具も確認する。また、大会期間中いつでも検査される可能性がある。

8 帆走指示書

帆走指示書は 2026 年 2 月 19 日（木）に LINE にて送信する。

9 開催地

9.1 和歌山セーリングセンターの所在地は以下のとおりである。

〒641-0014 和歌山県和歌山市毛見 1514 番地

9.2 添付 1 に、レース・エリアの場所を示す。

10 コース

ウインドワード・リーウードコースとする。詳細は帆走指示書に掲載する。

11 得点

11.1 大学対抗戦・個人成績それぞれの得点方式は、次の通りとする。

11.2 シリーズが成立するためには、1 レースを完了することを必要とする。

11.3 シリーズに参加したボードの数は、「3 名以上の選手が登録された大学の数 × 3 に加え、3 名未満の選手が登録された大学の選手の数の合計」とする。この項は規則 A4 を変更している。

11.4 大学対抗戦

A) 各レースの得点は、各大学の内、得点の少ない 3 つのボードのレース得点の合計とする。3 名未満の選手の数で参加する大学の各レースの得点の合計は、得点の合計に用いられる 3 つのボードに満たないボードを、DNC として記録し得点の合計に加える。

B) 4 レース未満しか完了しなかった場合、各大学のシリーズの得点は、レース得点の合計とする。

C) 4 レース以上が完了した場合、各大学のシリーズの得点は、最も悪いレース得点を除外したレース得点の合計とする。

この項は規則 A2、A4 を変更している。

11.5 個人成績

- A) 4 レース未満しか完了しなかった場合、ボードのシリーズの得点は、レース得点の合計とする。
- B) 4 レース以上が完了した場合、ボードのシリーズの得点は、最も悪い得点を除外したレース得点の合計とする。

この項は規則 A2 を変更している。

12 支援艇

支援艇の使用は認めない。

13 バース

艇は和歌山セーリングセンターにある間、指定された場所に保管しなければならない。

14 [DP]無線通信

緊急の場合を除き、レース中のボードは、無線送信も、すべてのボードが利用できない。無線通信の受信もしてはならない。またこの制限は、携帯電話にも適用される。ただし、主催団体またはレース委員会が認めた通信手段は認める。

15 賞

15.1 賞を次のとおり与える。

15.2 大学対抗戦

- A) 1 位のチームに学生ボードセーリング選手権“優勝旗”及び“優勝トロフィー”を次の年までの 1 年間、授与する。
- B) 1 位から 6 位のチームにメダルを与える。

15.3 個人成績

1 位から 10 位の選手にメダルを与える。

16 リスク・ステートメント

RRS 3 には『レースに参加するか、またはレースを続けるかについての艇の決定の責任は、その艇にのみある。』とある。大会に参加することによって、それぞれの競技者は、セーリングには内在するリスクがあり、潜在的な危険を伴う行動であることに合意し、認めることになる。これらのリスクには、強風、荒れた海、天候の突然の変化、機器の故障、艇の操船の誤り、他艇の未熟な操船術、バランスの悪い不安定な足場、疲労による傷害のリスクの増大などがある。セーリング・スポーツに固有なのは、溺死、心的外傷、低体温症、その他の原因による一生消えない重篤な傷害、死亡のリスクである。

17 大会期間中の肖像権および個人情報の公開

大会期間中の艇、競技者、支援者に関する写真、動画等のすべての著作物、映像に関する権利は、主催団体に帰属する。参加申し込みにあたり提出された個人情報は、本大会の情報発信を行うメディアを除き、本人の同意なく第三者に提供されることはない。

18 問い合わせ先

日本学生ボードセーリング連盟

2025年度日本学生ボードセーリング選手権 大学対抗戦 実行委員会

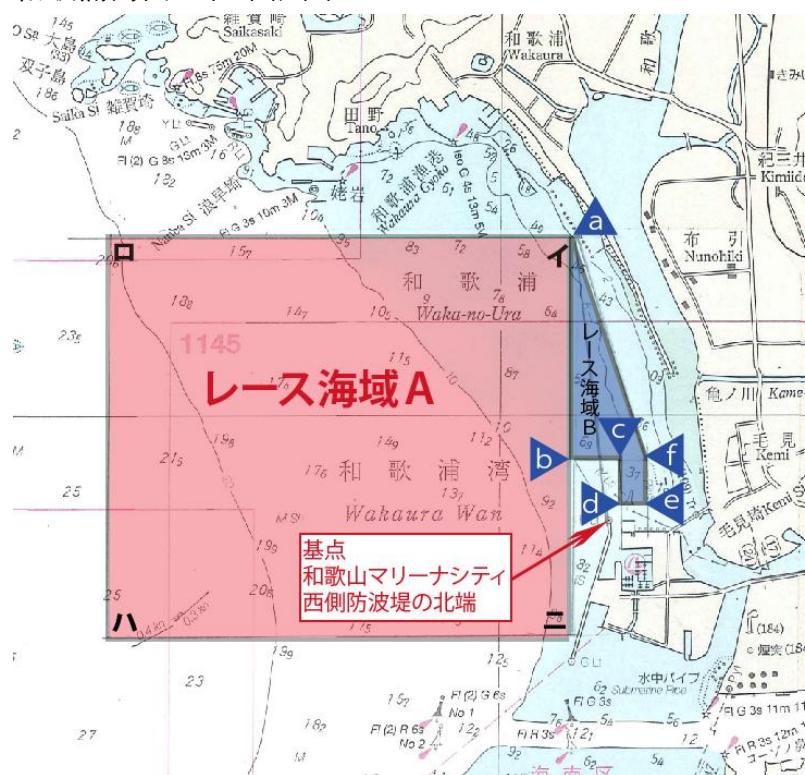
北村偉歩（滋賀県立大学ウインドサーフィン部）

〒522-0041 滋賀県彦根市平田町 265-1 アルシオネ 1214号

電話：080-7807-5986 E-mail：dantaisen.wind.1234@gmail.com

添付1 レース・エリア

和歌浦湾内で、下記図の



イロハニ及び a b c d e f の各ポイントに囲まれた海域とする。

レース海域A

(イ点からニ点に囲まれた海域)

イ点：基点から 350 度 1900m、口点：イ点から 270 度 3400m

ハ点：口点から 180 度 2700m、ニ点：ハ点から 90 度 3400m

レース海域B

(a 点から f 点に囲まれた海域)

a 点：基点から 350 度 1900m、b 点：a 点から 180 度 1400m

c 点：b 点から 90 度 400m、d 点：c 点から 180 度 400m

e 点：d 点から 90 度 100m、f 点：e 点から 0 度 400m

なお方位は真方位です。